



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> [mail@ken-nonoyama.com](mailto:mail@ken-nonoyama.com)

No.673 2023.3.1

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

(仮称)北区

# 子ども条例制定へ



北区は、貧困やいじめ、虐待等、子どもを取り巻く今日的な課題に対し、全ての子どもが誰一人取り残されることなく、将来への希望をもって、心身ともに健やかに成長できるように、2024年3月を目途に「(仮称)北区子ども条例」を制定するとし、1日の文教子ども委員会には、条例制定に向けたこれまでの経過が報告されました。教育委員会は、昨年7月から今年にかけて、中学生

## 区議会文教子ども委員会に経過報告

モニター会議、小学生との区政を話し合う会、高校生モニター会議、GIGAスクール端末を活用したアンケートなどで、子どもたちの意見を聴取。その結果を、3回の子ども・子育て会議で報告してきました。

同会議では、「条例の名称には『権利』を入れてほしい」、「『いじめの防止』、『虐待の防止』、『子どもの貧困の防止』、『子どもの意見表明権』をきちんと盛り込んでほしい」などの意見・要望が出されています。

今後は、8月頃に「条例に盛り込むべき内容(素案)」を作成、引き続き、子どもへの意見聴取、子ども・子育て会議での検討を重ね、12月のパブリックコメントを経て条例の制定をめざします。

私たちも、よりよい条例となるよう努力していきたく思います。(のの山けん)

## 子どもの声が生きる条例に

委員会で私は、何よりも子どもの声が生きる条例とするよう、その策定過程を広く知らせ、条例制定を全区民的な運動にしていこうと大切だと発言しました。

その上で、さらに丁寧に子ども

の意見を聞き、条例の名称に「権利」を入れ、「子どもの貧困の防止」を盛り込むこと、ユニセフが提唱している「子どもにやさしいまち」の構成要素を反映させるよう要望しました。(のの山けん)



# 届かぬ区民の思い

## 区議会第1回定例会 文教子ども委員会での陳情審査

1日に開かれた文教子ども委員会で、区民から提出された陳情について審査が行われました。

陳情や請願は、区民が行政に対して行ってほしいことを直接区議会に要望し、その内容が妥当であるかどうかを判定するしくみです。審査はまず所管委員会で行われます。議会の各会派および無会派は、それぞれの陳情・請願について、「採択」、「趣旨採択」、「不採択」、「継続審査」の態度を表明します。委員会ですれも過半数に満たない場合は、継続審査となります。結果が出た陳情・請願は、最終的に区議会本会議での議決に付されます。

今回は、子どもに関わる3本の陳情が提出され、日本共産党はいずれも採択を主張しましたが、1本は不採択、2本は継続審査となりました。区民の思いが届かず残念に思っています。(のの山けん)

### 保育所指定管理委託の見直し着手を求める陳情

区立保育所の運営を民間事業者に委託する指定管理者制度では、職員の人件費が低く抑えられ、離職率が高くなるなどの弊害が。民間委託の見直しへの着手を求める陳情です。

共産	自民	公明	立憲	維新	無所属
採択	不採択	不採択	不採択	不採択	不採択

結果→ **不採択**



### PTAに係る対応についての通知発出を求める陳情

小中学校のPTA活動にかかわって、不適切な対応やトラブルが発生しており、教育委員会から学校長へPTA活動のあり方を周知徹底する通知を発出するよう求める陳情です。

共産	自民	公明	立憲	維新	無所属
採択	不採択	不採択	継続審査	趣旨採択	趣旨採択

結果→ **継続審査**



### 卒業証書入れ・コサージュの公費負担を求める陳情

現在は、PTAからの寄付や卒業対策費など保護者負担となっている卒業証書入れとコサージュ（あわせて約1000円程度）を、公費によって負担することを求める陳情。

共産	自民	公明	立憲	維新	無所属
採択	継続審査	継続審査	継続審査	不採択	採択

結果→ **継続審査**

